

# 競技注意事項

## 1. 規則

競技は2023年（公財）日本陸上競技連盟競技規則による。

## 2. 練習

- ①会場への投擲物の持ち込みは禁止とする。
- ②フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- ③競技場の開門は7：00～7：30とする。

## 3. 競技場とスパイクの使用

- ①競技場は全天候型である。
- ②使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。土用ピン及びニードルピンの使用は禁止とする。
- ③シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底全体の厚さは以下の通り。
  - 走高跳：20mm以内（かかと含む）
  - 走幅跳：20mm以内（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）
  - 砲丸投：20mm以内
  - トラック種目：800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内

## 4. 招集

- ①競技者は、本部前に設置した招集所へプログラム記載の一次招集時間内に行くこと。トラック種目については、その後腰ナンバーを配布する。（リレー競技は第4走者のみ）
- ②競技者は一次招集後、競技開始の10分前までにスタート地点または競技場所に集合する。荷物は各自で管理すること。
- ③リレー競技については、リレーオーダー用紙を時間内に提出し、招集時間内に4人そろって招集所で招集を受ける。

## 5. 入退場

- ①トラック競技は、レース終了後、腰ナンバーを招集所へ戻すこと。
- ②フィールド競技は、競技終了後競技役員の指示で退場する。

## 6. アスリートビブス

- ①アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定（2023年度）のものを使用する。
- ②アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

## 7. 最初の高さのバーの上げ方

走高跳・棒高跳における、バーの上げ方は次の通りとする。

	練習	競技	
男子走高跳	1m00cm 1m20cm 1m40cm	1m00cm から 5cm ずつ	
女子走高跳	1m00cm 1m15cm 1m30cm	1m00～1m45cm まで 5cm ずつ	以降 3cm ずつ
混成競技	1m00	1m00 以降 3cm ずつ	
男女棒高跳	気象条件などを踏まえ、跳躍審判の指示に基づく		

## 8. リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームは本部でリレーオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入した上で、招集完了時刻の60分前までに招集所に提出のこと。
- ②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ③リレーのマーカの使用は1カ所とし、マーカは各チームで用意する。

## 9. 計時

競走競技はすべてのトラック種目のレースにおいて写真判定を採用する。

## 10. 競技場、用器具、シューズについて

- ①競技場は全天候型である。
- ②器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- ③棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。

## 12. 不正スタート

不正スタートについては、1回目で失格とする。ただし、混成競技については2回目以降に不正スタートをしたものを失格とする。

## 13. フィールド競技について

- ①走幅跳、砲丸投、円盤投は3回の試技とする。
- ②棒高跳、砲丸投、円盤投げで使用する滑り止めは各自で準備をし、滑り止めを他人と共有はしない。

#### 14. 抗議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後(15分以内)に各顧問が総務を通じて審判長に対して口頭で行う。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、総務に文書で申し出る。

#### 15. その他

- ・記録の発表は、アナウンスと記録の掲示で行う。掲示は本部入り口前に行う。
- ・各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- ・ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- ・選手控え場所については2階スタンド、芝生スタンド、倉庫とする。
- ・器具使用後は、手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- ・プログラムの記載事項の訂正については、8:30までに、本人または代理人が本部へ届け出ること。エントリー変更は認めない。
- ・競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- ・選手、競技役員、各学校の顧問、各学校管理職以外は、フィールド内に立ち入ることはできない。2階スタンドまたは、芝生スタンドから観戦する。
- ・2階スタンドは出場選手、出場選手の保護者、出場学校職員以外は立ち入ることはできない。
- ・スタートの時は静かにし、競技の妨げにならないように注意すること。
- ・競技終了後、競技場を練習場所として開放する。全競技が終了するまでは練習はしない。
- ・芝生へは、競技運営上必要のある時以外は立ち入らない。
- ・選手は競技場内でのスマートフォン等の電子機器は使用不可。また、学校部活動の一環であることから、陣地や競技場外での使用も相応しくない。